

# 2019年3月期 中間決算説明会



2018年11月20日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

## 2019年3月期 第2四半期決算状況

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 売上高・利益 .....           | 4  |
| 2. セグメント別業績 .....         | 7  |
| ・自動車電池（国内） .....          | 8  |
| ・自動車電池（海外） .....          | 11 |
| ・産業電池電源 .....             | 15 |
| ・車載用リチウムイオン電池 .....       | 18 |
| ・その他 .....                | 21 |
| 3. 連結業績予想の修正 .....        | 22 |
| 4. 貸借対照表 .....            | 25 |
| 5. 設備投資・減価償却費・研究開発費 ..... | 26 |
| 6. キャッシュ・フロー計算書 .....     | 27 |

# 2019年3月期 第2四半期決算状況

# 1. 売上高・利益

(億円)

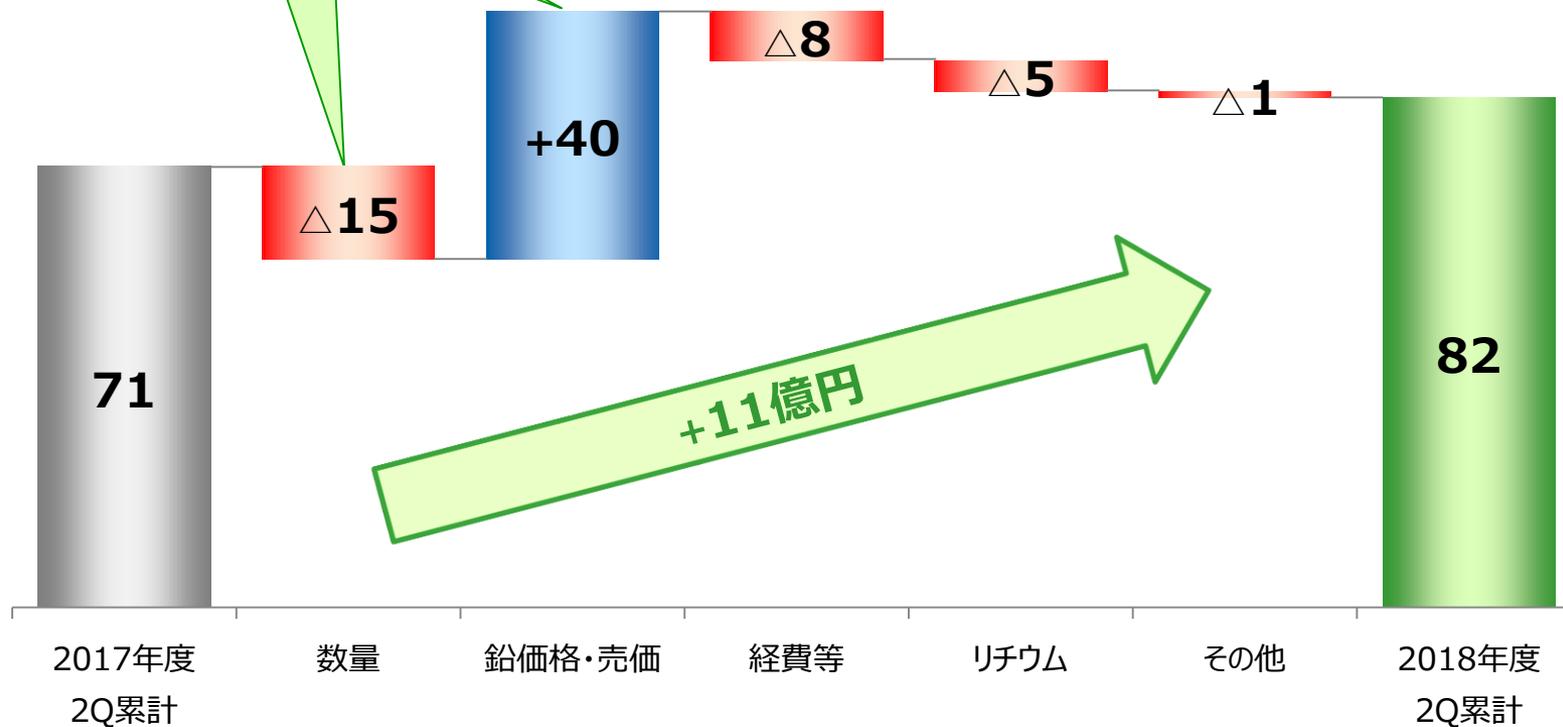
|   | 2017 年度<br>2Q累計 | 2018 年度<br>2Q累計 | 増減           | (前期比)    |
|---|-----------------|-----------------|--------------|----------|
| 売上高   | 1,842           | 過去最高 1,954      | +112         | (+6.1%)  |
| 営業利益<br>(営業利益率)                                 | 60<br>3.2%      | 70<br>3.6%      | +10<br>+0.4P | (+16.2%) |
| のれん等償却前営業利益<br>(のれん等償却前営業利益率)                   | 71<br>3.8%      | 82<br>4.2%      | +11<br>+0.4P |          |
| 経常利益  | 64              | 75              | +11          | (+16.2%) |
| 特別利益  | 1               | 2               | +1           |          |
| 特別損失  | 1               | 3               | +2           |          |
| 税前四半期純利益  | 65              | 75              | +10          |          |
| 法人税等  | 26              | 27              | +1           |          |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益                                | 13              | 13              | △0           |          |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益<br>(四半期純利益率)                   | 25<br>1.4%      | 35<br>1.8%      | +10<br>+0.4P | (+35.5%) |
| のれん等償却前<br>親会社株主に帰属する四半期純利益<br>(のれん等償却前四半期純利益率) | 37<br>2.0%      | 48<br>2.4%      | +11<br>+0.4P |          |
| 中間配当 (円/株)                                      | 3円              | 3円              | ±0           |          |

# 1. 売上高・利益

## 営業利益増減要因（前年比較）

（億円）

対前年比較においてはASEANを中心に数量が届かなかったものの、鉛価格が安定する中で、昨年来の売価転嫁が浸透した。



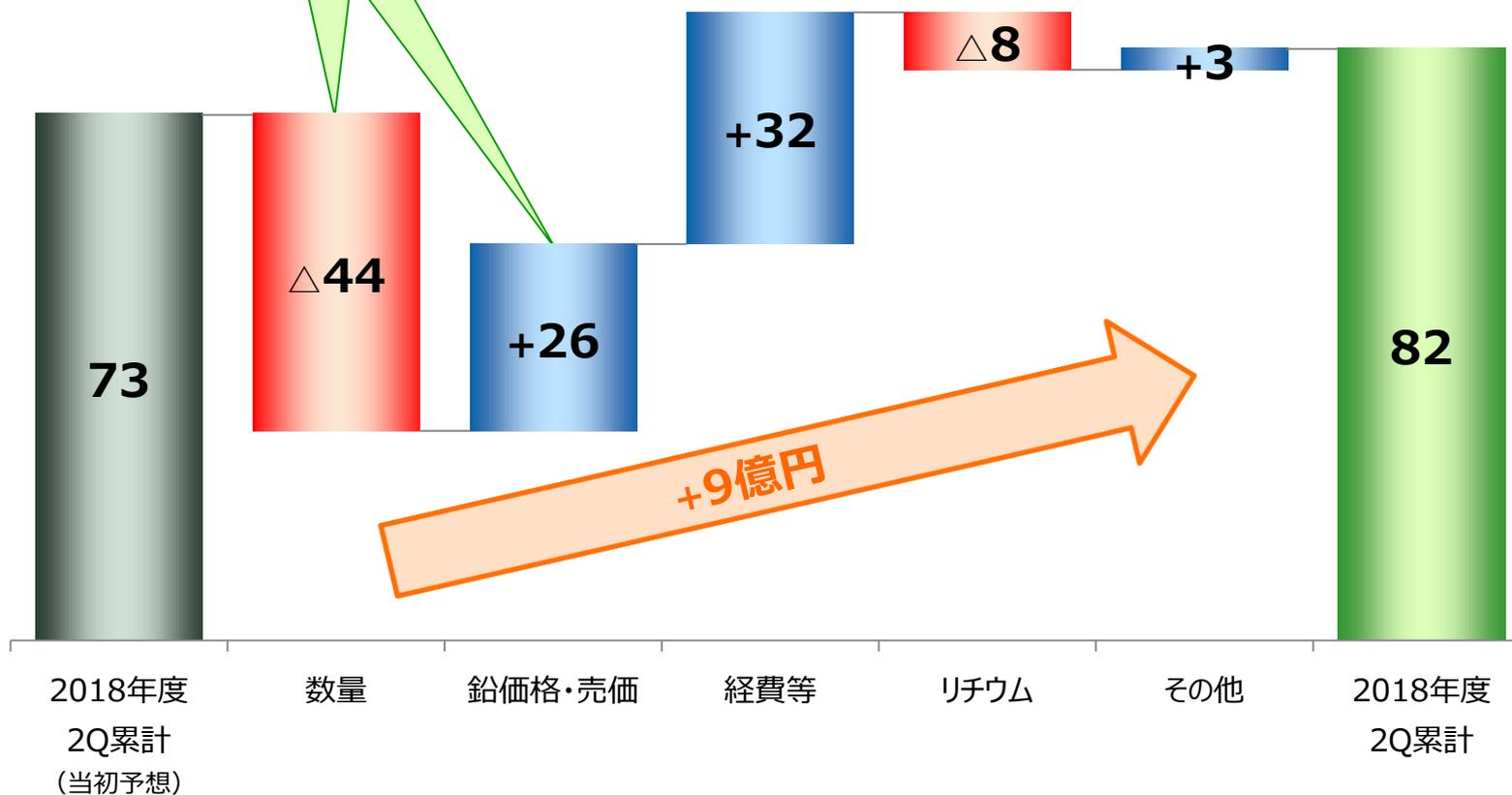
（注）営業利益はのれん等償却前営業利益です。

# 1. 売上高・利益

## 営業利益増減要因 (計画比較)

(億円)

一方、対計画比においては鉛価格が前提を下回り、利益を押し上げたものの、中国を中心に高く設定した想定には届かなかった。



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

## 2. セグメント別業績

(億円)

|              |    | 2017年度<br>2Q累計 |                 | 2018年度<br>2Q累計 |                 | 増減   |                 |
|--------------|----|----------------|-----------------|----------------|-----------------|------|-----------------|
|              |    | 売上高            | 営業利益<br>(利益率:%) | 売上高            | 営業利益<br>(利益率:%) | 売上高  | 営業利益<br>(利益率:P) |
| 自動車電池        | 国内 | 393            | 20<br>(5.2)     | 414            | 27<br>(6.4)     | +21  | +7<br>(+1.2)    |
|              | 海外 | 877            | 38<br>(4.3)     | 926            | 50<br>(5.4)     | +49  | +12<br>(+1.1)   |
| 産業電池電源       |    | 305            | 11<br>(3.6)     | 293            | 6<br>(2.1)      | △12  | △5<br>(△1.5)    |
| 車載用リチウムイオン電池 |    | 196            | 2<br>(1.1)      | 220            | △3<br>(△1.3)    | +24  | △5<br>(△2.4)    |
| その他          |    | 71             | △1<br>(△1.3)    | 101            | 3<br>(2.8)      | +30  | +4<br>(+4.1)    |
| 合計           |    | 1,842          | 71<br>(3.8)     | 1,954          | 82<br>(4.2)     | +112 | +11<br>(+0.4)   |

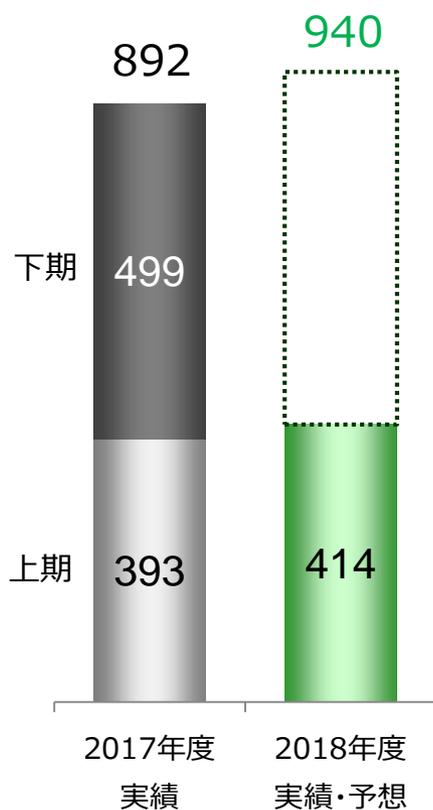
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

## 2. セグメント別業績

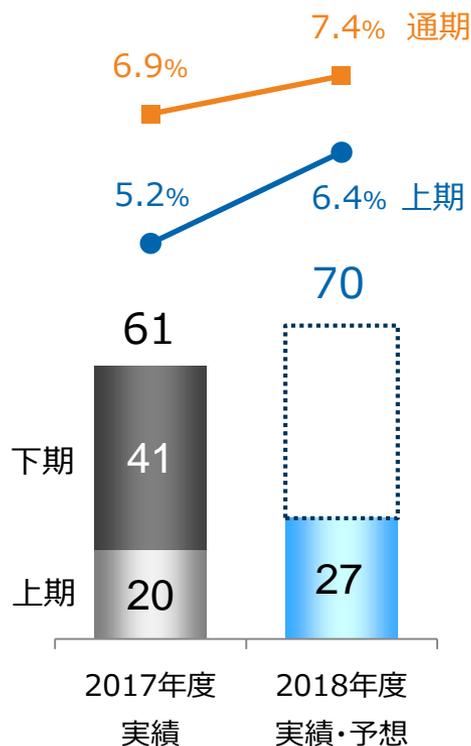
### 自動車電池（国内）

(億円)

#### 売上高



#### 営業利益・利益率



#### 2018年度上期商況

- 新車向けは欧州統一(EN)規格鉛蓄電池の販売増加
- 補修向けはISS車用鉛蓄電池の販売増加

#### 増減益要因

|         |    |
|---------|----|
| 数量      | +2 |
| 鉛価格・売価  | +8 |
| 合理化・経費等 | △3 |

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん償却前営業利益率です。

## 2. セグメント別業績

### 自動車電池（国内）

高まるアイドリングストップ（ISS）車用鉛蓄電池、EN電池の需要

新車向け出荷割合



- ISS車用鉛蓄電池は高水準を維持
- EN電池採用メーカー・車種が拡大



新車向けマーケットシェア拡大

補修向け出荷割合



- ISS車用鉛蓄電池の取替えは着実に拡大

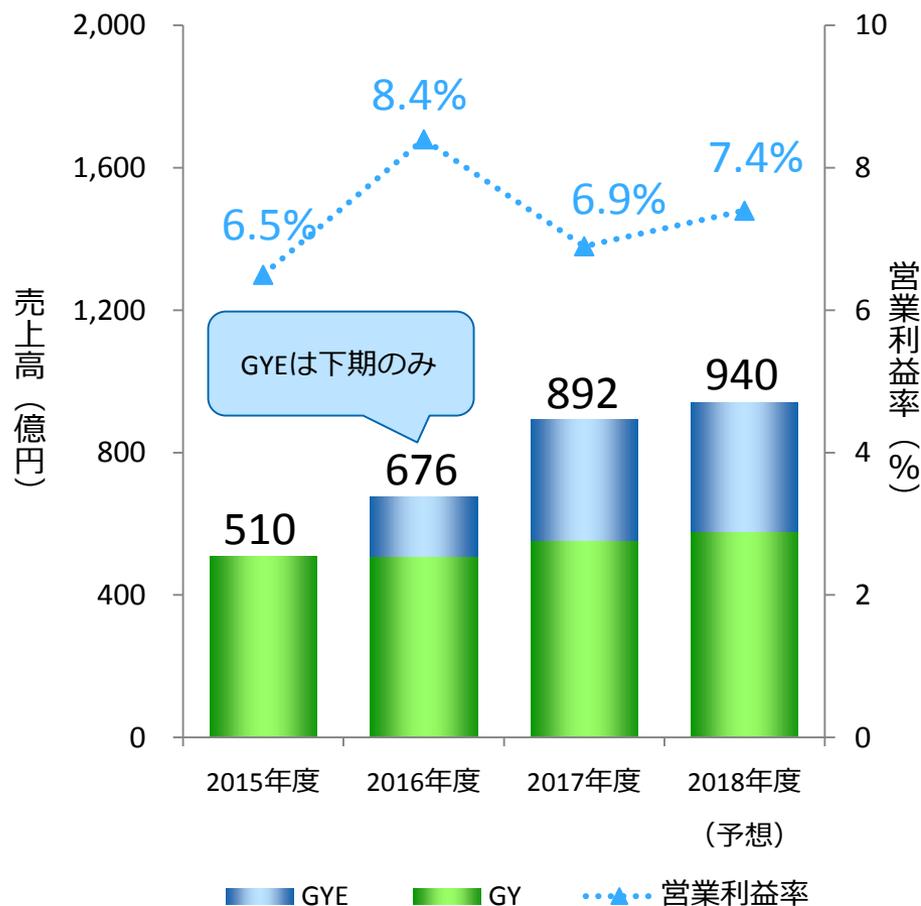


製品ミックス良化による収益性向上

## 2. セグメント別業績

### 自動車電池（国内）

#### パナソニック鉛蓄電池事業 完全子会社化によるシナジー



#### 今後創出させるシナジー

- 生産：4工場の最適生産体制の構築
- 調達：共同調達によるコスト低減
- 生産技術：互いの強みを活かした設備開発
- 技術：技術力強化による新技術開発
- 品質保証：品質システム融合による製品品質向上



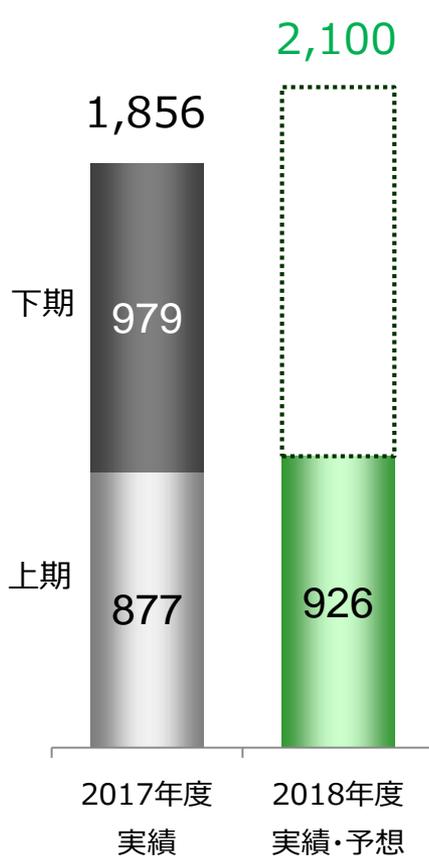
#### 相乗効果による営業利益率の向上

## 2. セグメント別業績

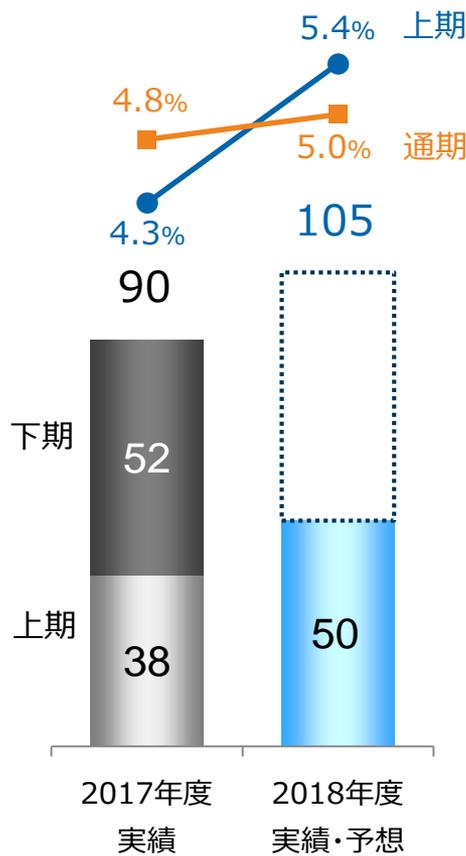
### 自動車電池（海外）

(億円)

#### 売上高



#### 営業利益・利益率



#### 2018年度上期商況

- 自動車用鉛蓄電池は中国で販売増加したものの、ASEANを中心に販売減少
- オートバイ用鉛蓄電池はタイ・インドネシアで販売増加したものの、中国・ベトナムで販売減少
- 鉛価格上昇分の売価転嫁の浸透が好調

#### 増減益要因

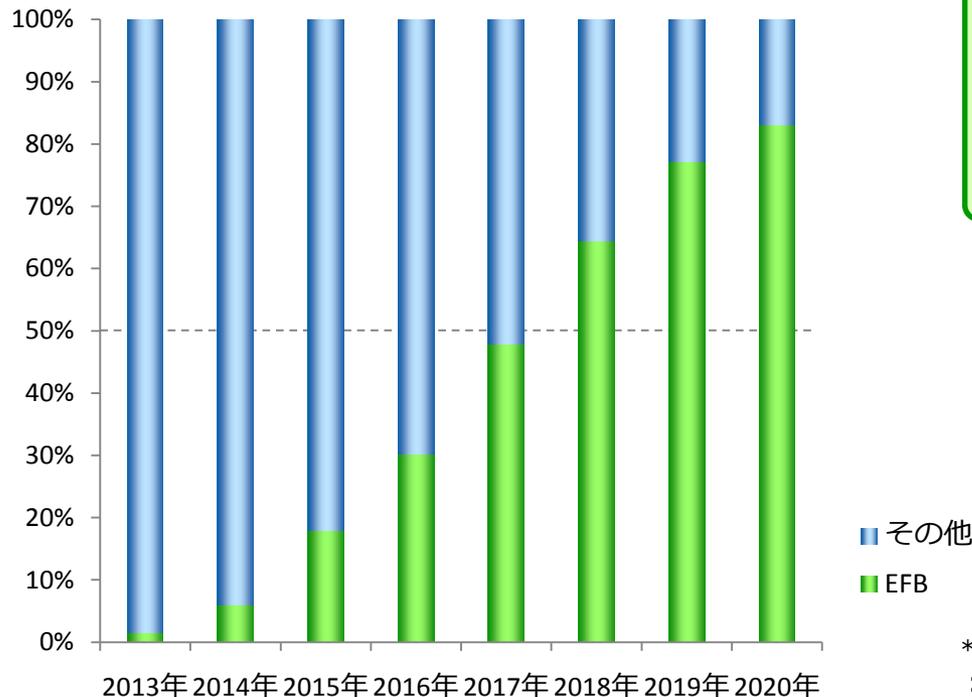
|         |     |
|---------|-----|
| 数量      | △13 |
| 鉛価格・売価  | +31 |
| 合理化・経費等 | △2  |
| 為替      | △5  |

### 自動車電池（海外）

#### 中国におけるISS車用鉛蓄電池（EFB）の需要



当社ISS（EFB）の販売比率（中国新車市場）



※2018年以降は見込み

#### 中国の市場動向

- 排出ガス規制強化に伴うISS（EFB<sup>\*1</sup>）車の需要増加
- 世界最大市場の中国でAGM<sup>\*2</sup>からISS（EFB）へニーズが変化



天津工場と順徳工場（広東省）の生産能力を増強し、南北2拠点から中国全土へISS（EFB）を優先的に供給

\*1 EFB（Enhanced Flooded Battery）  
：アイドリングストップ車用液式鉛蓄電池

\*2 AGM（Absorbed Glass Mat）電池  
：ガラスマットセパレータを使用した制御弁式（VRLA型）鉛蓄電池

### 自動車電池（海外）

#### 中国 天津工場を中心に需要拡大への対応



中国新天津工場（イメージ）



天津杰士電池有限公司

自動車用鉛蓄電池  
**生産能力**（年間）

現在 **400** 万個  2021年度 **600** 万個

#### 天津新工場の特徴

- 最新鋭設備により中国の厳しい環境規制に対応
- グループ最大規模の自動車用鉛電池工場
- 最新設備導入による生産の効率化・合理化
- 生産の自動化による品質の向上



**ISS（EFB）搭載車や  
低燃費車需要に対応**

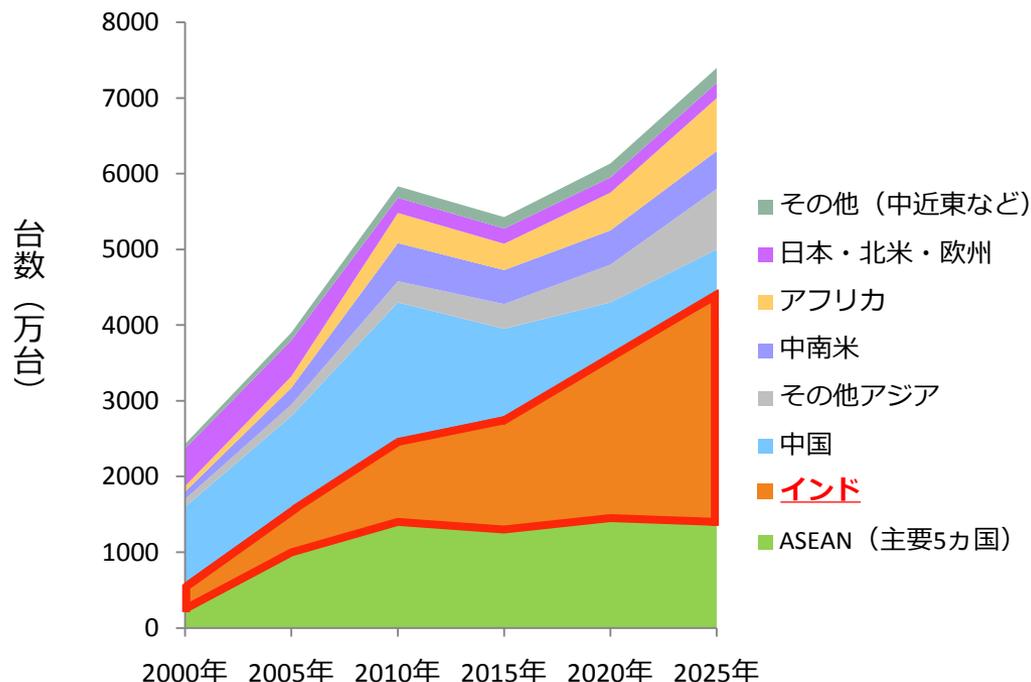
## 2. セグメント別業績

### 自動車電池（海外）

#### インド オートバイ用鉛蓄電池の市場拡大への対応



#### オートバイ市場規模の推移



Tata AutoComp GY Batteries Private Limited

オートバイ用鉛蓄電池  
**生産能力** (年間)

現在  
**240** 万個



2021年度  
**700** 万個



インド市場の拡大に対応するため、  
早期に生産体制を増強

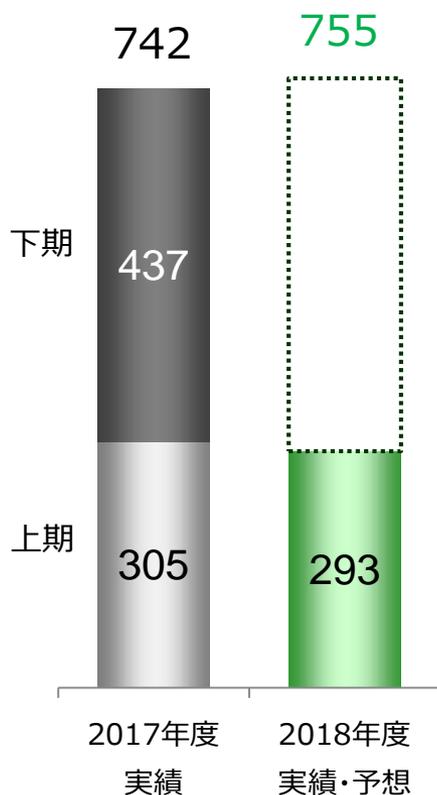
参照: FOURIN (世界: 二輪車市場規模の推移)

## 2. セグメント別業績

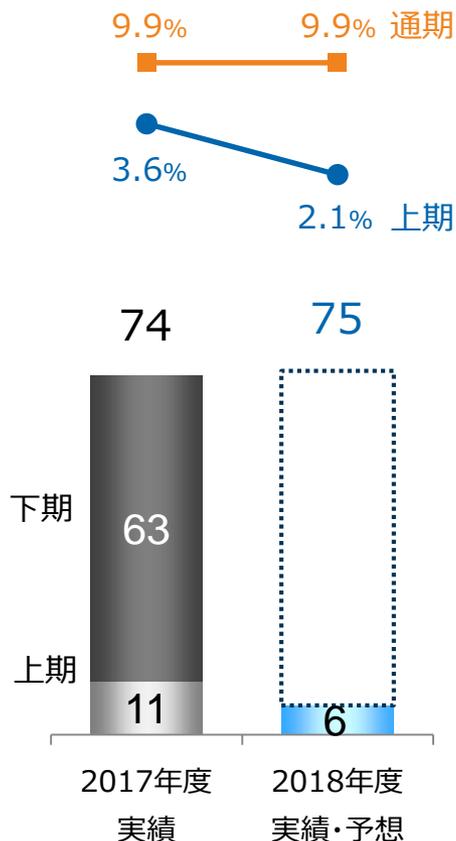
### 産業電池電源

(億円)

#### 売上高



#### 営業利益・利益率



#### 2018年度上期商況

- バッテリーフォークリフト用鉛蓄電池の販売は好調維持
- バックアップ用電源装置の販売減少
- 特機事業を譲渡

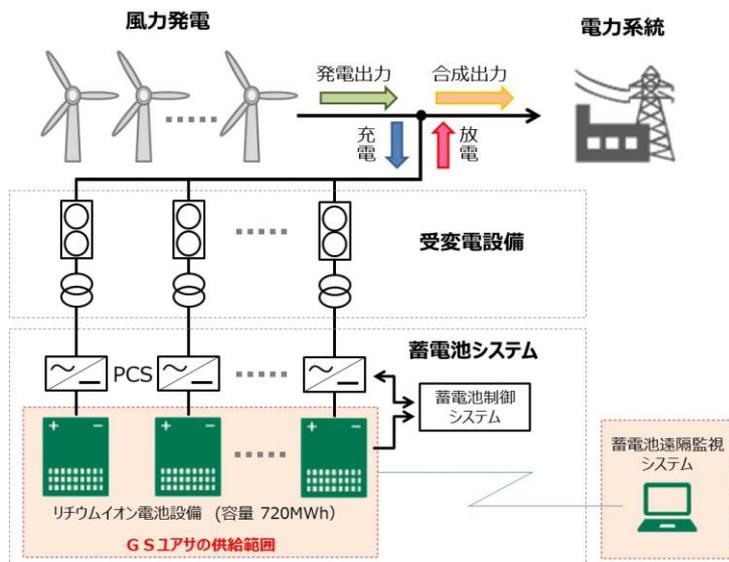
#### 増減益要因

|         |    |
|---------|----|
| 数量      | △4 |
| 鉛価格・売価  | +2 |
| 合理化・経費等 | △3 |

## 産業電池電源

### 北海道（豊富町）に設置する世界最大規模の蓄電池設備を受注

#### 風力発電における蓄電池システム



- 世界のエネルギー需要の拡大
- 再生可能エネルギーの有効活用
- 出力変動を安定化させる蓄電池システムが必要

世界最大規模の蓄電池を導入  
(出力240MW・容量720MWh)

 = 4.5万台相当分のLiB

電気自動車

本プロジェクトは再生可能エネルギーの有効活用のため、出力変動を安定化させる蓄電池システムの導入を通じて、SDGs\* に貢献するものです。  
このような取り組みを通じて、当社グループ自身も**サステイナブル・グロース（持続可能な成長）**を遂げていきます。



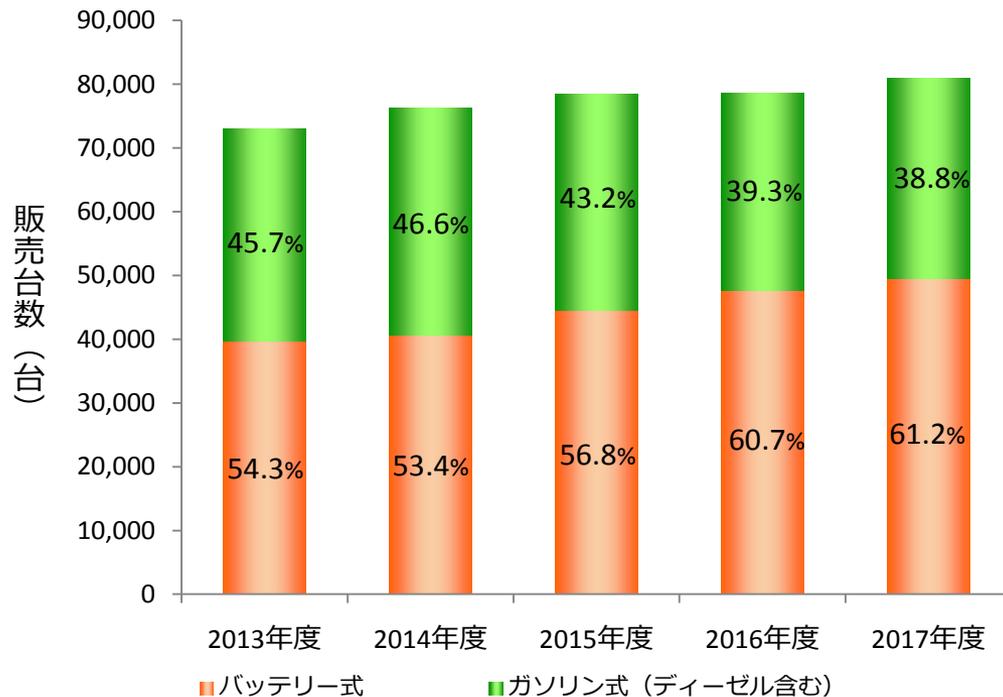
\*SDGsとは2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の頭文字を取った言葉

## 産業電池電源

### フォークリフト用鉛蓄電池需要の増加



#### フォークリフトの国内販売台数



#### 市場動向

- ▶ 日本市場では2006年～公道を走行しない特殊自動車について排出ガス規制の強化（オフロード法）
- ▶ 欧州市場では、排ガス規制などにより、約80%がバッテリー式フォークリフト



### バッテリー式フォークリフトの蓄電池需要の増加

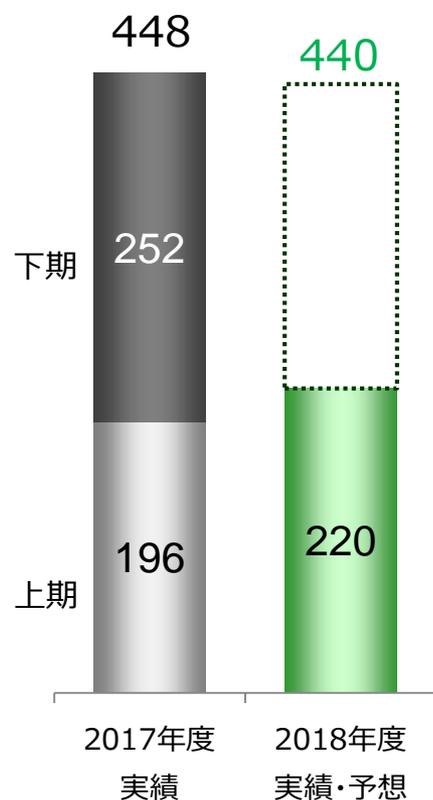
参照: JIVA (フォークリフト生産、国内販売、輸出実績)

## 2. セグメント別業績

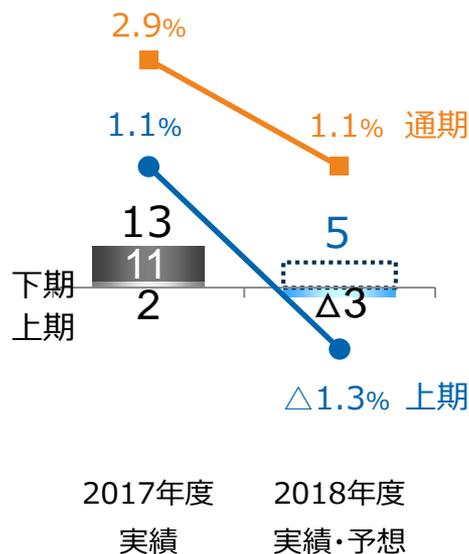
### 車載用リチウムイオン電池

(億円)

#### 売上高



#### 営業利益・利益率



#### 2018年度上期商況

- [リチウムエナジー・ジャパン]  
採用車種の販売好調により、プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売増加
- [ブルーエナジー]  
ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売減少

#### 増減益要因

原材料価格の上昇

開発費用の負担増加

## 2. セグメント別事業状況

### 車載用リチウムイオン電池

#### LiB技術開発力の強化



##### 基礎研究・技術開発

###### 基礎研究部門



研究開発センター

###### 技術開発部門



LIB技術開発センター

2018年  
4月  
設置

##### 事業部・製造開発

###### 事業部門

自動車電池事業部  
産業電池電源事業部  
リチウムイオン電池事業部  
株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー



###### 製造開発部門



LiBの技術開発力をさらに強化するために、2018年4月からLIB技術開発センターを設置し、お客様に満足いただける製品の開発を加速しています。

## 2. セグメント別事業状況

### 車載用リチウムイオン電池

#### 自動車始動用12V LiB供給開始に向けた取り組み状況



##### ハンガリー工場



2019年  
稼動  
(予定)

GS Yuasa Hungary Ltd.  
(2018年9月に完成した建屋)

生産能力 (初期)

50 万個/年間

※リチウムイオン電池セルは  
リチウムエナジー ジャパンで生産して輸出

##### 欧州市場の動向

- 欧州ではRoHS/ELV指令など  
環境負荷低減の意識が高い



欧州の高級自動車メーカーに  
供給開始 (2019年下期~)

複数の自動車メーカーからの  
引き合いに対応中

##### Point

当社は欧州自動車メーカーへの  
鉛蓄電池の納入が少ない



12V LiBはカニバリゼーションせず、  
シェア拡大が可能

## 2. セグメント別業績

### その他

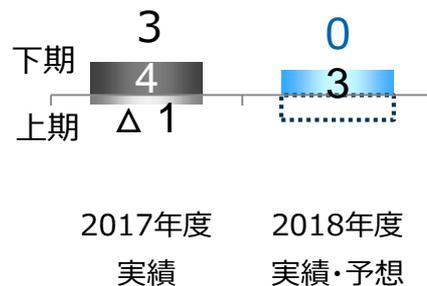
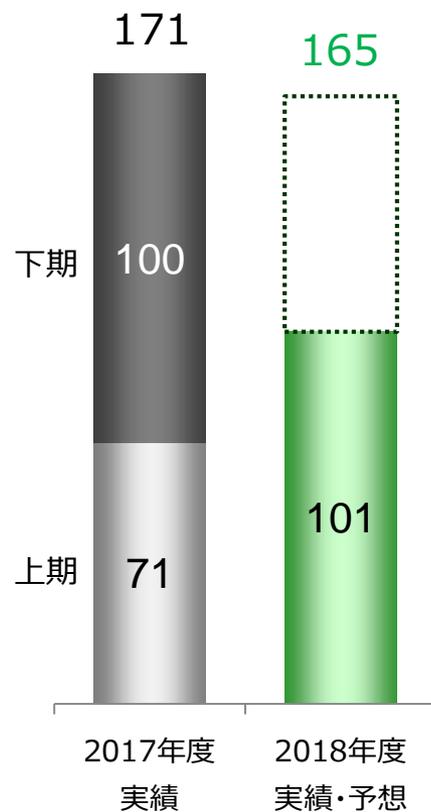
売上高

(億円)

営業利益

(億円)

トピックス



- 初号艦に続き、2・3号艦目の潜水艦用リチウムイオン電池を受注
- 航空機用リチウムイオン電池の販売増加

増減益要因

潜水艦用リチウムイオン電池の生産増加

### 3. 連結業績予想の修正

|   | 2017年度<br>実績 | 2018年度<br>当初予想 | 2018年度<br>修正予想   | 増減<br>(修正-当初) |    |
|---|--------------|----------------|------------------|---------------|----|
| 売上高   | 4,110        | 4,500          | 過去最高 4,400       | △100          |    |
| 営業利益<br>(営業利益率)                               | 219<br>5.3%  | 220<br>4.9%    | 230<br>5.2%      | +10<br>+0.3P  |    |
| のれん等償却前営業利益<br>(のれん等償却前営業利益率)                 | 241<br>5.9%  | 245<br>5.4%    | 255<br>5.8%      | +10<br>+0.4P  |    |
| 経常利益  | 214          | 230            | 過去最高 240         | +10           |    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益<br>(当期純利益率)                   | 114<br>2.8%  | 130<br>2.9%    | 過去最高 140<br>3.2% | +10<br>+0.3P  |    |
| のれん等償却前<br>親会社株主に帰属する当期純利益<br>(のれん等償却前当期純利益率) | 139<br>3.4%  | 155<br>3.4%    | 165<br>3.8%      | +10<br>+0.4P  |    |
| 前提条件  | 国内鉛建値 (万円/t) | 32.35          | 34.0             | 34.0          | ±0 |
|   | LME (US\$/t) | 2,318          | 2,500            | 2,500         | ±0 |
|   | 為替 (円/US\$)  | 112.04         | 110.0            | 110.0         | ±0 |

### 3. 連結業績予想の修正

(億円)

|                  |    | 2017年度<br>実績 |                 | 2018年度<br>当初予想 |                 | 2018年度<br>修正予想 |                 | 2018年度<br>2Q累計 |                 |
|------------------|----|--------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
|                  |    | 売上高          | 営業利益<br>(利益率:%) | 売上高            | 営業利益<br>(利益率:%) | 売上高            | 営業利益<br>(利益率:%) | 売上高            | 営業利益<br>(利益率:%) |
| 自動車<br>電池        | 国内 | 892          | 61<br>(6.9)     | 940            | 62<br>(6.6)     | 940            | 70<br>(7.4)     | 414            | 27<br>(6.4)     |
|                  | 海外 | 1,856        | 90<br>(4.8)     | 2,200          | 105<br>(4.8)    | 2,100          | 105<br>(5.0)    | 926            | 50<br>(5.4)     |
| 産業電池電源           |    | 742          | 74<br>(9.9)     | 755            | 73<br>(9.7)     | 755            | 75<br>(9.9)     | 293            | 6<br>(2.1)      |
| 車載用<br>リチウムイオン電池 |    | 448          | 13<br>(2.9)     | 440            | 5<br>(1.1)      | 440            | 5<br>(1.1)      | 220            | △3<br>(△1.3)    |
| その他              |    | 171          | 3<br>(1.7)      | 165            | -               | 165            | -               | 101            | 3<br>(2.8)      |
| 合計               |    | 4,110        | 241<br>(5.9)    | 4,500          | 245<br>(5.4)    | 4,400          | 255<br>(5.8)    | 1,954          | 82<br>(4.2)     |

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

### 3. 連結業績予想の修正

#### 連結業績予想について



| セグメント         | 変化額         |                | 要因  |
|---------------|-------------|----------------|---|
|               | 売上高         | のれん償却前<br>営業利益 |   |
| 自動車電池<br>(国内) |             | + 8億円          | ➤ 原材料価格の下落に伴う増益（上期分）を反映。                                    |
| 自動車電池<br>(海外) | △ 100<br>億円 |                | ➤ 原材料価格の下落に伴う売価変化により減収の見込み。<br>➤ 中国の自動車市場における新車向け販売の減少を見込む。 |
| 産業電池<br>電源    |             | + 2億円          | ➤ バッテリーフォークリフト用鉛蓄電池の販売増加を見込む。<br>➤ 上期低調であった電源装置の回復を見込む。     |

# 4. 貸借対照表

(億円)

|             | 2018/3末 | 2018/9末 | 増減額  |               | 2018/3末 | 2018/9末 | 増減額  |
|-------------|---------|---------|------|---------------|---------|---------|------|
| 流動資産        | 1,794   | 1,738   | △56  | 負債            | 1,836   | 1,810   | △26  |
| ・現金及び預金     |         |         | +52  | ・支払手形及び買掛金    |         |         | △10  |
| ・受取手形及び売掛金  |         |         | △121 | ・電子記録債務       |         |         | △11  |
| ・たな卸資産      |         |         | +31  | ・未払金          |         |         | △20  |
|             |         |         |      | ・短期借入金        |         |         | △88  |
|             |         |         |      | ・長期借入金        |         |         | +124 |
| 固定資産        | 2,098   | 2,102   | +4   | 純資産           | 2,056   | 2,030   | △26  |
| ・有形固定資産     |         |         | △4   | ・利益剰余金        |         |         | +17  |
| ・のれん等無形固定資産 |         |         | △8   |               |         |         |      |
| ・投資有価証券     |         |         | +20  | ・その他有価証券評価差額金 |         |         | +31  |
|             |         |         |      | ・為替換算調整勘定     |         |         | △46  |
|             |         |         |      | ・非支配株主持分      |         |         | △25  |
| 資産          | 3,892   | 3,840   | △52  | 負債・純資産        | 3,892   | 3,840   | △52  |

年度末の売上増加に伴う  
売上債権を回収

需要期に向けた在庫積み増し

年度末の仕入増加に伴う  
仕入債務を支払

保有株式の株価上昇影響

保有株式の株価上昇影響

トルコ・韓国の現地通貨  
に対する円高影響

|              | 2018/3末 | 2018/9末 |
|--------------|---------|---------|
| 自己資本比率       | 45.2%   | 45.7%   |
| ROE（自己資本利益率） | 8.2%    | -       |
| 有利子負債        | 751億円   | 787億円   |

(注) ROEは、のれん等償却前当期純利益に対するものです。

# 5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

|                |    | 2017年度<br>2Q累計 | 2018年度<br>2Q累計 | 2017年度<br>通期 | 2018年度<br>通期<br>(予想) |
|----------------|----|----------------|----------------|--------------|----------------------|
| <b>設備投資額</b>   |    | 55             | 81             | 152          | 300                  |
| 自動車電池          | 国内 | 8              | 16             | 24           | 40                   |
|                | 海外 | 24             | 29             | 63           | 100                  |
| 産業電池電源         |    | 3              | 5              | 11           | 25                   |
| 車載用リチウムイオン電池   |    | 6              | 19             | 13           | 75                   |
| その他            |    | 14             | 12             | 42           | 60                   |
| <b>減価償却費</b>   |    | 82             | 77             | 165          | 170                  |
| 内、車載用リチウムイオン電池 |    | 26             | 22             | 52           | 47                   |
| <b>研究開発費</b>   |    | 48             | 44             | 112          | 120                  |
| (売上高研究開発費率)    |    | 2.6%           | 2.2%           | 2.7%         | 2.7%                 |

# 6. キャッシュ・フロー計算書

(億円)

**営業 C / F 102**

|           |     |
|-----------|-----|
| ・税金等調整前利益 | 75  |
| ・減価償却費    | 86  |
| ・売上債権の減少  | 111 |
| ・たな卸資産の増加 | △62 |
| ・仕入債務の減少  | △48 |
| ・法人税等の支払  | △52 |

**投資 C / F △89**

|           |     |
|-----------|-----|
| ・有形固定資産取得 | △74 |
| ・子会社株式取得  | △28 |

**財務 C / F 16**

|         |     |
|---------|-----|
| ・借入金増加  | 60  |
| ・配当金の支払 | △29 |

## 現金および現金同等物の残高

|    |     |        |     |
|----|-----|--------|-----|
| 期首 | 198 | 第2四半期末 | 241 |
|----|-----|--------|-----|

**フリー C / F ※1 13**

## ポイント

- たな卸資産の増加や仕入債務の減少があったものの、売上債権の回収により、営業 C / F は上期として過去最高の102億円を確保した。
- これにより、設備投資や子会社の株式を取得したものの、フリー C / F は13億円となった。

※1：営業活動による C / F と投資活動による C / F の合計

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



#### 連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

コーポレート室（広報） 青木 裕 ・ 柿島 辰年 ・ 田中 祥太

Tel : 075-312-1214

[www.gs-yuasa.com/jp](http://www.gs-yuasa.com/jp)

## 參考資料

## CSR方針



- GS YUASAは、法令遵守にとどまらず、社会的責任に関わる国際的行動規範を尊重し、蓄エネルギー技術等により事業活動の持続的発展に取り組むとともに、人と社会と地球環境に貢献します。

1. 公正、透明かつ健全な事業活動の推進と腐敗の防止
2. 人権の尊重
3. 適正な労働環境の維持、向上
4. 安全、安心な製品、サービスを提供する責任の遂行
5. 地球環境の保全
6. 地域社会との共生
7. サプライチェーンにおける社会的責任活動の推進



全従業員の行動の  
規範としての  
「CSR行動規範」

## 「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」への署名



WE SUPPORT



### ■ 国連グローバル・コンパクトの10原則

＜人権＞

- 原則1：人権擁護の支持と尊重
- 原則2：人権侵害への非加担

＜労働＞

- 原則3：結社の自由と団体交渉権の承認
- 原則4：強制労働の排除
- 原則5：児童労働の実効的な廃止
- 原則6：雇用と職業の差別撤廃

＜環境＞

- 原則7：環境問題の予防的アプローチ
- 原則8：環境に対する責任のイニシアチブ
- 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及

＜腐敗防止＞

- 原則10：強制や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み



## 社外からの評価



### CSR評価

|       | MSCI (米)<br>ESG格付け ※1 | 東洋経済新報社<br>CSR評価 ※2 |    |      |     | EcoVadis社 (仏)<br>CSR評価 ※3 |
|-------|-----------------------|---------------------|----|------|-----|---------------------------|
|       |                       | 人材活用                | 環境 | 企業統治 | 社会性 |                           |
| 2017年 | AA                    | AA                  | AA | AA   | AA  | 50点 (ランク: シルバー)           |
| 2016年 | A                     | C                   | C  | B    | C   | 37点 (ランク: ブロンズ)           |

※1 MSCI (米) ESG格付けはジャパンESGセレクトリーダーズ指数によるものであり、「AAA、AA、A、BBB、BB、B、CCC」の7段階評価

※2 東洋経済新報社CSR評価は「AAA、AA、A、B、C」の5段階評価

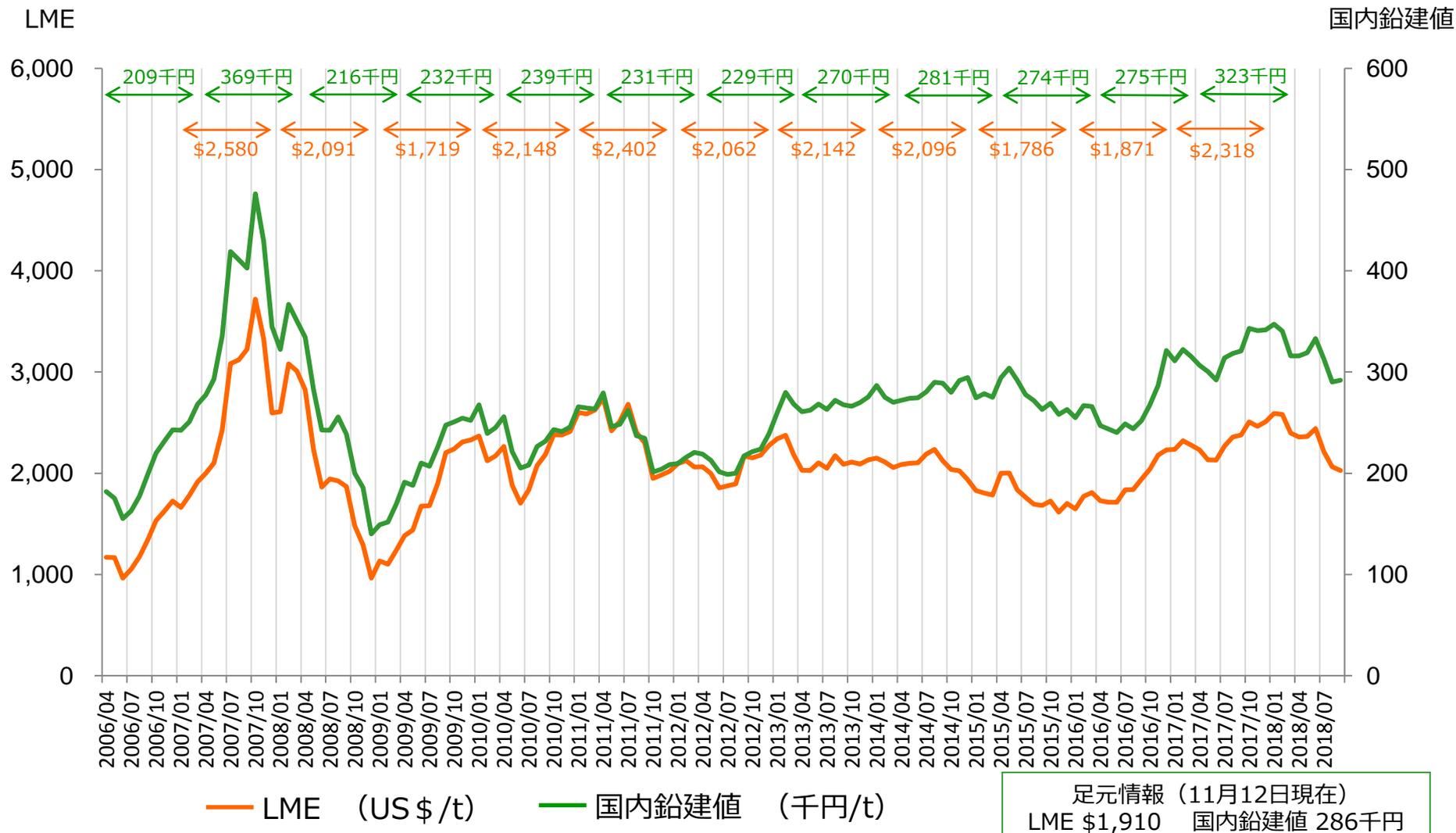
※3 EcoVadis社 (仏) CSR評価は100点満点、調査対象企業平均は43.7点

### CSRへの取り組みに対する評価、認定、表彰

- DBJ健康格付の最高ランク「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」を取得
- 経済産業省の「健康経営優良法人2018~ホワイト500~」に認定
- 厚生労働省の「子育てサポート企業」として「くるみんマーク」認定を受けています



## 原材料価格の推移



## 有利子負債、D/Eレシオ推移

